

情報提供

那医発第 518 号
令和 4 年 12 月 12 日

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 友利 博朗
担当理事 長嶺 勝

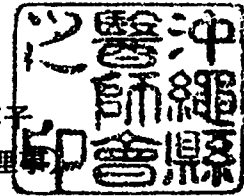


平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。
沖縄県医師会を通じて『令和 4 年度「人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」の実施について』の通知が届きましたのでご案内申し上げます。
☆ 問合せ先 (那覇市医師会 事務局:宮城・前泊 /電話 098-868-7579)
.....記.....

冲医発第 1351 号 F
令和 4 年 12 月 8 日

地区医師会担当理事 殿

沖縄県医師会
理事 涌波淳子
(介護保険担当理事)



令和 4 年度「人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」の実施について

今般、日本医師会から標記文書の発出がありましたのでご連絡致します。

厚生労働省では、平成 19 年度より一般国民、医療従事者の人生の最終段階における医療・ケアに対する意識やその変化を把握するための調査を 5 年毎に実施しております。

本通知は、令和 4 年度の調査について別添のとおり実施することとなり、調査対象となる会員の先生方への協力依頼となっております。

本調査について、是非、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

調査結果は、本人の意思を尊重した望ましい人生の最終段階における医療・ケアの在り方の検討に活用されるとともに、厚生労働省ホームページにて公表されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますとともに、貴管下関係医療機関等への周知方につきご高配を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

記

- ・ 令和 4 年度「人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」の実施について
(令和 4 年 11 月 30 日 日医発第 1689 号 (技術))

※関係文書は文書管理システムへ掲載致します。

沖縄県医師会事務局業務 2 課:宮城、平良
TEL: 098-888-0087
FAX: 098-888-0089
g2@okinawa.med.or.jp



日医発第 1689 号 (技術)
令和 4 年 11 月 30 日

都道府県医師会担当理事 殿

公益社団法人日本医師会
常任理事 宮川 政昭
(公印省略)

令和 4 年度「人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」
の実施について

平素より、本会会務にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省では、一般国民、医療介護従事者の人生の最終段階における医療・ケアに対する意識やその変化を把握するための調査を、平成 19 年度より 5 年毎に実施しています。調査結果は、本人の意思を尊重した望ましい人生の最終段階における医療・ケアの在り方の検討に活用されるとともに、厚生労働省ホームページで公表されています。

今般、令和 4 年度の調査について別添のとおり実施することとなり、厚生労働省より本会に対し、調査対象となる会員の先生方への協力依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただきますとともに、貴会管内の関係各所にご周知くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

医政発 1125 第 4 号
令和 4 年 11 月 25 日

公益社団法人日本医師会長 殿

厚生労働省医政局長
(公 印 省 略)

「人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」の実施について

厚生労働行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、一般国民及び医療介護従事者の人生の最終段階における医療・ケアに対する意識やその変化を把握するための調査を実施し、我が国の人生の最終段階における医療・ケアを考える際の資料として広く活用してきました。

今般、最終調査から 5 年の月日を経て、昨今の一般国民の認識及びニーズの変化、医療提供状況の変化などに鑑み、一般国民及び医療介護従事者における意識調査を実施することとしました。

本調査は、一般国民及び医療介護従事者の人生の最終段階における医療・ケアの意識及びニーズについて調査することを目的としています。また、本調査の結果については、今後、本人の意思を尊重した望ましい人生の最終段階における医療・ケアの在り方の検討を進める上での資料として活用することを予定しています。

医療介護従事者への調査については、医療機関及び介護施設を經由し調査表を配布しますので、貴職におかれましては、貴会会員の皆様の御協力について、格段の御配慮をお願い申し上げます。

「令和4年度人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」

1. 目的

厚生労働省では、一般国民及び医療介護従事者の人生の最終段階における医療・ケアに対する意識やその変化を把握するための調査を実施してきました。この度、最終調査から5年の月日を経て、昨今の一般国民の認識及びニーズの変化、医療提供状況の変化などに鑑み、再度、一般国民、医療介護従事者における意識を調査し、その変化を把握することで、本人の意思を尊重した望ましい人生の最終段階における医療・ケアの在り方の検討に活用したいと考えています。

なお、本調査の調査結果は、厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp>) において、公表する予定です。

2. 調査対象

対象者	対象施設	抽出方法	施設数	1施設 の 対象数	対象者数
一般国民	—	20歳以上の男女から層化2段階無作為抽出	—	—	6,000
医師	病院	無作為抽出	1,500	2	4,500
	診療所	無作為抽出	1,500	1	
看護師	病院(上記と同一施設)	無作為抽出	1,500	2	5,500
	診療所(上記と同一施設)	無作為抽出	1,500	1	
	訪問看護ステーション	無作為抽出	500	1	
	介護老人福祉施設・介護老人保健施設	介護支援専門員用700から500を無作為抽出	500	1	
介護支援専門員	介護老人福祉施設・介護老人保健施設	無作為抽出	700	1	3,000
	居宅介護支援事業所	無作為抽出	2,300	1	

3. 調査方法

調査対象者(施設)へ郵送により調査票を配布し、郵送又はオンラインにより、調査票又は電子調査票を回収します。

4. スケジュール(案)

令和4年度 11月22日	調査開始(調査票発送)
12月20日	調査回答締切
12月中旬～	調査票の集計・分析
3月下旬	報告書の公表